

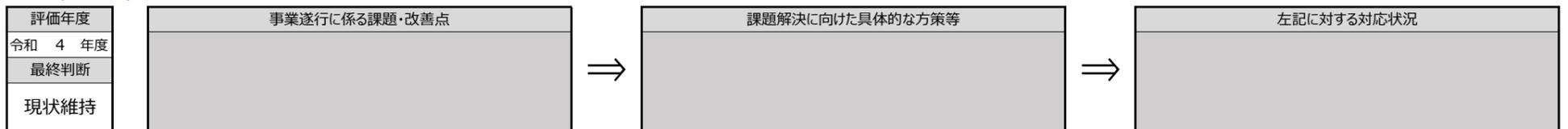
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	補装具費支給事業			会計区分	1	一般会計		所管部署	福祉課																				
事業番号	6090			予算科目	3 款 1 項 13 目		民生費	シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度																		
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	政策的事業【義務】			所属長名	米湊	米湊	米湊																		
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造		担当責任者	小笠原	小笠原	岡本	事務担当者	木下	木下	木下																		
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律			事業の目的【ゴール】	対象 身体障害者手帳の交付を受けた者並びに障害者総合支援法施行令に規定する疾病に該当する難病患者等で、補装具の支給を受けることにより、身体機能を獲得し又は補うことが可能な者。			事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力																				
関係する計画等	基本施策	心の通った社会福祉の推進		意図	車いす等の補装具を支給することにより、障がい者等の職業その他日常生活の能率の向上を図ることを目的とする。			事業終了年度（予定）	令和	年度（予定） □ 設定なし																			
事業内容【アクティビティ】	具体的な内容、どのような方法で実施しているのか			申請があった場合、医師による意見書及び福祉総合支援センターによる判定等により、補装具の購入又は修理が必要であると認められた時は、購入又は修理に要した費用の100分の90に相当する額を支給する。			事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 （ 扶助費 ）																					
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 （ 扶助費 ）			本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性			<table border="0"> <tr> <td>□ ゴール1 貧困をなくそう</td> <td>□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</td> <td>□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール2 飢餓をゼロに</td> <td>□ ゴール8 働きがいも経済成長も</td> <td>□ ゴール14 海の豊かさを守ろう</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を</td> <td>□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう</td> <td>□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール4 質の高い教育をみんなに</td> <td>□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう</td> <td>□ ゴール16 平和と公正をすべての人に</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう</td> <td>□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを</td> <td>□ ゴール17 パートナースhipで目標を達成しよう</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に</td> <td>□ ゴール12 つくる責任つかう責任</td> <td></td> </tr> </table>					□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール17 パートナースhipで目標を達成しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	
□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を																											
□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう																											
□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう																											
□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に																											
□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール17 パートナースhipで目標を達成しよう																											
□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール12 つくる責任つかう責任																												

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）					事業費の内訳					概要		
項目	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	節	細節	事業費（千円）				※代表的なものを簡潔に	
							R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求		
予算	当初予算	6,315	6,315	6,315	6,317	例年支出のあるもの	扶助費	3,854	6,109	4,603	6,300	身体障害者（児）補装具費
	補正予算	0	0	0	0		役務費	4		2	9	郵便料金
	前年度から繰越	0	0	0	0		需用費				8	
	予備費等	0	0	0	0							
計	6,315	6,315	6,315	6,317								
決算	執行額	3,858	6,109	4,605								
	翌年度へ繰越	0	0	0								
	国庫支出金	1,927	3,055	2,302	3,150							
	県支出金	963	1,528	1,151	1,575							
財源内訳	地方債	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0							
	一般財源	968	1,526	1,152	1,592							
	執行率（%）	61.1%	96.7%	72.9%								
当初予算+補正予算に対する執行額の割合（%）	61.1%	96.7%	72.9%									
正規職員の人工数	0.23	0.30	0.30									
1人当たりの人件費単価	7,794	7,765	7,895									
※ 執行額+人件費	5,651	8,439	6,974				0	0	0	0	一般事務費、上記で書き表せないもの	
							事業費の総計				3,858 6,109 4,605 6,317	

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果
	指標①	支給件数	件	—	36	44	34
指標②							事業遂行に係る課題・改善点
指標③							・職員が補装具についての知識が必要となる。 ・書類の提出が甚だしく遅滞する補装具事業所があり、スムーズな事務処理が行うことが出来ない。
指標④							課題解決に向けた方策等
							・福祉総合支援センターに判定依頼や助言を求めることにより、障がいの状態に合った補装具を適正に支給出来るようにする。 ・補装具事業所への連絡を密に取り、スムーズな書類提出に協力いただけるように努める。

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。